

ライト、ブロードエーカーシティ、ユソニアン	ウィスコンシン、シカゴ	アメリカ	世界	日本とライト、他
<p>ライト 1867 - 1959、ウィスコンシン州リッチランドセンターで誕生 アイオワ州マクレガー 1869(父バプティスト教会牧師) ロードアイランド州ポーターケット 1871(„) マサチューセッツ州ウェイマス 1874(„)</p> <p>叔父ジェームスの農場で毎夏働き始めるく(1878 ~ 16 歳になるまでの 5 年) ウィスコンシン州マディソン 1879(父ユニタリアン教会牧師) 父出奔 1883 コノーバー教授のもとで働きながら、ウィスコンシン大学工学部の聴講生になる。(1885 ~ 1887) ユニティーチャペル(シルスピー設計)の建設を手伝う 1886</p> <p>田園のウィスコンシンで育ち、大学での「机上の学問」から脱落して、フランク・ロイド・ライトはシカゴに来た。1887/1 月 ライト 19 歳 シルスピー事務所に雇われる。1887 晩春 ネル、ジェーン叔母のヒルサイドホームスクール(1890 ~ 1925)を設計 1887 アドラー&サリバン事務所へ移る。1887 秋 キャサリン・トインビーと結婚、オークパークに自宅を建てる 1889 シカゴを訪れたフェノロサから浮世絵を購入</p> <p>無断の住宅設計アルバイトが見つかり解雇される。1893 シラービルにセシル・コーウィンと事務所開設 1893 秋 下田菊次郎を雇う 1894 自宅に事務所を移す 1902 ライト Hull House で Art and Craft of the Machine 講演 1901 メイマ・チェニーとヨーロッパに旅立つ。ベルリンのヴァスムート社と作品集の出版契約を結ぶ。1909 メイマ・チェニー、エレン・ケイを訪問 1910</p> <p>最初のロードスターを買う 1910 タリアセン建設 1911</p> <p>ミッドウェイガーデン 1914 タリアセン惨事 1914 メイマ他 7 人が使用人に殺害される</p> <p>カリフォルニアのコンクリートブロック住宅 (Millard Barnsdoll, Storer, Freedman) 1923 - 24</p> <p>オルギヴァナ Olga Lazovich と知り合う。1924</p> <p>タリアセン火災 1925 年初め</p> <p>ライトはミリアム・ノエルとの離婚の争いごとになり、オルギヴァナの兄ウラジミールを頼りニューヨークに滞在する。大都市について感じたことを幾つか書いてみようと思った。 「In Bondage」捕らわれて、「The Usonian City」ユソニアン都市、「自伝」の執筆開始 1926 1926 年夏ライト一家はミネソタの田舎に隠れ、マン法違反で 2 日間拘留された。 Taliesin 1926 経済的に危機状態になり 1926 年 10 月ウィスコンシン銀行がライトに破産を宣告した。このときライトを救ったのが施主の Darwin Martin、エイヴァリー・クーンレイ夫人、Attoney であった Philip La Follette らであった。Frank Lloyd Wright LTD Corp.を立ち上げて Philip La Follette が Secretary になった。ライトはオルギヴァナを一時国外に送るという Philip La Follette の助言には従わなかった。彼がああ父親の息子だとは思えなかった。(自伝)。</p> <p>ビルトモアホテル 1927,1</p> <p>Philip La Follette は Darwin Martin に頼まれ清算をするため銀行と交渉した。銀行はタリアセンを競売にかけ売ろうとしたが買いたいと思う人がなかった。銀行との間に妥協が成立し、ライトはタリアセンに帰ることが出来た。(1928 年 9 月) (ライト自伝)</p>	<p>シカゴ大火 1871</p> <p>1886 年にはいたるところでストライキがあった。そしてミルウォーキーでは 8 人が民兵のストライキに対する発砲で殺された。シカゴで、多くの警察官が、労働集会を解散しようとして殺された。</p> <p>All Souls Unitarian Church(シルスピー設計、ジェンキン・ロイド・ジョーンズ牧師、ライトの叔父)1886 Jenkin Lloyd Jones. A powerful figure in Chicago's Unitarian community, Jones worked with the architect Joseph L. Silsbee to create unconventional home-like structures for All Souls Church in Chicago (1886) and Unity Chapel near Spring Green, Wisconsin (1886).</p> <p>Jane Addams, シカゴに Hull House を設立 1889</p> <p>フェノロサ、大日本帝国美術取調委員として岡倉天心らと欧米視察旅行 1887/4 月シカゴを訪れる。</p> <p>シカゴ 大コロンビア博アメリカ発見の 400 周年記念を記念するために(日本館鳳凰堂)フェノロサ、モース、ラファージ、執行弘道、シカゴ万博審査委員(日本美術部門)を務める。1893 フェノロサ シカゴ美術館で講演 1894(フェノロサはシルスピーの従兄弟であった。)</p> <p>1894 ブルマンスト</p> <p>Belle Case La Follette (1879-1881) Taught school, Spring Green and Baraboo, Wisconsin. 1912 Conducted speaking campaigns for women's suffrage(女性参政権運動) in California, Oregon, and Wisconsin.</p> <p>Robert M. La Follette 連邦下院議員に選出 1885</p> <p>Wisconsin idea ウィスコンシン大学 大学拡張部を開設 キャンパスの境界は、州の境界である 「大学におけるすべての活動は、社会へのサービスのためにある」(Van Hise, 1915). ウィスコンシン大学に開設された大学拡張部は、通信教育と拡張講座を受け持つ教育部門と、情報・福祉事業と公開討論を受け持つ社会事業部門で構成され、地方事務局を配置して州の隅々まで事業が行き渡るよう整備された。 ラフォレット政権に対する協力の政治経済学大学院の中心人物は John Commons(ライトの友人)であった。</p> <p>Robert La Follette Sr.(1855-1925)がウィスコンシン州知事(1901 ~ 1906)を自ら辞任しウィスコンシン州上院議員となった際、両親は Washington D.C.に住まうことになり、3 人の子供たちは 1 時期ライトの叔母たちが運営していた Hillside Homeschool に預けられた。1906</p> <p>1920 年代の末期までに全米で最も啓蒙された人道的なウィスコンシン行政を樹立した。</p> <p>1921 年に、ウィスコンシン州は John Commons によって立案された土地税を法律で定めた。(それは、Henry George と Silvio Gesell によって提案された土地改革のいくつかを達成することをめざしていたが、土地の国有化は必要としないものだった。</p>	<p>ジェファーソン独立宣言 1776 ジェファーソンのルイジアナ買収 1803、土地法改正 1904 開拓農民が従来の 1/4 の 160 エーカー 80 ドルで入手できるようにした。このことにより事実上の西部開拓時代が幕開けする。</p> <p>1840 年代から 50 年代、アイルランドとドイツから大勢の移民 1850 年代から 60 年代 中国からの移民が増加し、多くはカリフォルニアに移住</p> <p>南北戦争 1861-65</p> <p>アメリカの資本主義は、南北戦争後、めざましい発展をとげた。工業生産額は 1860 ~ 90 年までの 30 年間に 5 倍に達し、1890 年頃までにはイギリスを追い抜いて世界の工業国となった</p> <p>ホームステッド法 1862 西へ移住する人々に土地が無償で与えられた。 ゴールドラッシュ 1948 ~</p> <p>1870 年代 移民の"第二波"。イギリス、オランダ、スウェーデン、ノルウェー等の国から 1890 年代イタリア、ブルガリア、ポーランド、ギリシャ、ロシアから移民</p> <p>フィラデルフィア万博 1876(母、ライトにフレールベルのギフトを与える) エマソン(1803-1882) ソーロー(1817-1862) ウィットマン(1819-1892) 大陸横断鉄道開通 1869 エチソン 電球発明 1879 Henry George 「Progress and Poverty」 1879</p> <p>ソーンスタイン・ベブレ 「有階級の理論」1889 1890 年 シャーマン反トラスト法 1893 年代西部開拓の進展によってフロンティア消滅を宣言。</p> <p>テオドア・ルーズヴェルト代大統領(1901 ~ 1909) 革新主義(進歩主義)を唱え、大資本・大企業の専横を抑えるために反トラスト法(1890 年制定)を厳格に適用して独占資本を抑制するなど社会改革に努めた。</p> <p>岡倉天心 茶の本 1906</p> <p>ヘンリーフォード、T型フォード量産開始 1913</p> <p>ウィルソン大統領(1913 ~ 21) 革新政治を推進し、反トラスト法の制定・関税の引下げなどの改革を行い、少数特権者の権力打破・国民の利益の増進に努めた。その在任中に第一次世界大戦が勃発した。1914</p> <p>禁酒法公布(1919 ~ 1933) 密造・密売が盛んとなり社会悪を増大させた。</p> <p>世界初のラジオ放送の開始、ウェスティングハウス社ビッツバーグで 1920</p>	<p>スチープンソンの改良によりストックトンとダーリントン間で鉄道営業開始 1825</p> <p>列強のアフリカ、太平洋諸地域分割(19 世紀末 ~ 20 世紀初期)</p> <p>1857 年恐慌</p> <p>1873 年恐慌</p> <p>フェビアン協会ロンドンで設立 1884</p> <p>1882 年恐慌 1890 年恐慌 ハワードの田園都市論 1898 1900 年恐慌 ハワードの田園都市レッチャーの着工 1903 1907 年恐慌</p> <p>シュタイナー「アントロポゾフィー協会」(「人智学協会」)を設立 1912、1980 年代の西ドイツの緑の党の創立理念にも影響を与えた</p> <p>辛亥革命 1911 孫文を臨時大統領に選出。南京で中華民国の建国を宣言</p> <p>第 1 次世界大戦勃発 1914 アメリカの参戦 1917 ロシア革命 1917 ソ連 USSR(1922 ~ 1991)</p> <p>1919 年ヴェルサイユ条約 ドイツは巨額の賠償金を課せられた</p> <p>パウハウス開校 1919 1920 年恐慌</p> <p>1920 国際連盟。設立時の加盟国数は 42 カ国。アメリカ不参加、ドイツ、ソヴィエトは排除された。武力制裁がなく、経済制裁(経済封鎖)のみであったこと、総会の議決が全会一致で意思統一が困難であった。小紛争の調停などには一定の成果をあげたが、大国の関わる紛争解決には非力であった。</p>	<p>黒船来航 1853</p> <p>明治維新 1867</p> <p>ジョサイア・コンドル工部大学校造家学科 1877 1 期生 辰野金吾</p> <p>アーネスト・フェノロサ 東京大学で政治学理財学を講じた。1878 東京美術学校の設立に尽力(日本美術の復興) 1890 年に帰米し、ボストン美術館東洋部長として、日本美術の紹介を行った。その後、1896 年、1898 年、1901 年にも来日</p> <p>執行弘道、起立工商会社ニューヨーク支店長に就任 1880</p> <p>エドワード・モース「日本住宅とその環境」1886</p> <p>日清戦争 1894 1890 年恐慌</p> <p>1901 - 02 年恐慌 ライト初来日(1905 3/7 ~ 4/28)日光、名古屋、大阪、高松 大正デモクラシー(1905-1925 あるいは 1918-1931) 日露戦争 1906 日本の韓国併合 1910</p> <p>林愛作、ライトに帝国ホテルの設計依頼 1912 ライト、メイマを伴い来日(2 回目 1913 2/14 ~ 5/17) 林愛作、武田五一、丸鬼隆一らに会う。執行弘道の助けを得、スホルディング兄弟のために浮世絵を大量に購入</p> <p>ライト来日(3 回目 1917 1/9 ~ 4/21) 林愛作邸 1917 遠藤新 ライトと渡米 1917 富山、米騒動 1918 原敬による初の本格的な政党内閣 1918 (ライト 4 回目来日 1918 11/17 ~ 1919 6 月) 山邑邸 1918 福原有信邸 1918 執行弘道邸?</p>

ライト、ブロードエーカーシティ、ユソニアン	ウィスコンシン、シカゴ	アメリカ	世界	日本とライト、他
<p>SanMarco in desert 1928</p> <p>Owen D.Young 邸(1928) SanMarco Hotel から遠く伸びたテラスのそれぞれの終端に計画されたのがYoung 邸とカドニー邸であった。ヤング邸は正方形グリッドの平面で立面は山肌や突出する岩を取り入れ、対角線を水平、45°に積んだテキスタイルブロックの家。カドニー邸は45°グリッド、スリロカタスの家</p> <p>ライトのゲゼルの理論に関する知識は、彼のクライアントの1人でライトが冬を過ごし始めたフェニックス、アリゾナ(図8)の近しい隣人でもあるOwen D. Young から来た可能性が十分ある。</p> <p>Owen D. Young 国際通貨会議の米国の代表だった。Irving Fisherによれば、彼はそこで活発にGesellのアイデアを推して、とりわけ金本位制を批判し、いくつかの為替を安定させる国際的な方法を強く推していた。</p> <p>オコティロ(1929年1月)</p> <p>1930 Wright delivers the Kahn lectures at Princeton University, Princeton, New Jersey, and publishes them under the title "Modern Architecture" in 1931. この講演の中で始めて都市に関しusoniaの概念を述べた。</p> <p>Wright continues work on his autobiography and "The Disappearing City."</p> <p>1931 The Wrights visit Rio de Janeiro as guests of the Pan American Union to judge a series of designs for the Columbus Memorial. An exhibition of Wright's life work travels to New York City; Amsterdam; Berlin; Frankfurt; Brussels; Milwaukee, Wisconsin; Eugene, Oregon; and Chicago. Wright published "The Hillside Home School of the Allied Arts: Why We Want This School." Lloyd Jones 邸</p> <p>Taliesin Fellowship(1932) タリアセンフェローシップ始まる 23人のアプレンティス(弟子)が集まる。Mr.Wright 65才「自伝」</p> <p>1932年 『The Disapearing city 消滅する都市』</p> <p>Willey House(1932)ミネソタ大学の学部長Malcolm M. Willeyの論文Communication Agencies and Social Life (通信機関と社会生活)(1933年)はHoover大統領の社会動向の調査委員会への専門家のレポートの1つとしてちょうど出版された。レポートは、自動車をもたらした圧倒的な個人の利点を認識し、予側に反して、「localism 地方主義」が新しい機動性によって育っていることの証拠を与えた。Willeyレポートはまた郵便、電話、ラジオ、およびテレビなどの通信手段について議論していた。</p> <p>Dr.Chandlerの提供したArizonaのLa Hacienda ハシエンダで(Broadacre City 模型の制作1934年1月~4月) Edgar J. Kaufmann Sr. の資金提供があった。</p> <p>Broadacre City 模型 公開(1935年) New York Rockefeller Center のNational Alliance of Arts and Industry Expositionで初めて公開される。1935年4月 Pittsburg のKaufmann Department Storeで展示。 Washington D.C.のCorcoran Galleryで政府、上院議員、米国、欧州の技術者、計画家などの招待者のみ Madison, Wisconsinで公開。 Marquette, Michiganで公開。</p> <p>"Fallingwater" House for Edgar J. Kaufmann, Bear Run, PA 1935</p> <p>1936 1936 Mr.Wright Chandlerで肺炎になる。</p>	<p>1924年 Robert La Follette、Progressive 党の大統領候補として出馬</p> <p>ウィスコンシン州議会が女性参政権を認める連邦憲法修正19条を、どの州より早く批准した。1925</p> <p>1925、「高齢のボブ」La Folletteは亡くなった。</p> <p>Philip Fox La Follette (1897 - 1965)</p> <p>the District attorney for Dane County, Wisconsin from 1925-1927</p> <p>1926-1930 Lecturer, University of Wisconsin Law School, Madison, Wis.</p> <p>共和党議員 1930</p> <p>ウィスコンシン州知事になる(1931~1933,1937~1939)</p> <p>1932 Progressive 党結成</p> <p>1934年に、2人のLa Folletteは、進歩党を組織するために父が徹底的に最後まで巧みに捻じ曲げた共和党から離れた。そしてその秋の選挙で、「ヤングボブ」とフィルの両方はProgressive 党のチケットで再選された。</p> <p>プログレッシブ党の綱領(政策)1934年は、Commons が「銀行の資本主義」と呼んだ膨大な企業の利益と産業企業により支配された世界において、広く支持された民主主義のアメリカ憲法の根本的な理想を回復するように意図されていた。</p>	<p>婦人参政権が実現した(1914年までに12州で認められていた)1920</p> <p>1920年代にできていたロサンゼルス物質的な成長</p> <p>1920年代 1921年から3代12年にわたって共和党政権が続き、共和党の伝統的な大企業保護政策の下で、自動車・化学・電気・映画・建築などの新産業がめざましく発展し、アメリカは大量生産・大量消費による「永遠の繁栄」を謳歌した。また自動車・電話・家庭電化製品・ラジオ・映画の普及によって大衆社会・大衆文化が成立した T型フォード、電灯、電気冷蔵庫、水洗トイレ、ラジオの普及 個人電話、住宅 映画 大衆文化</p> <p>生産性の伸びにはるかに遅れた賃金の伸び悩み、農業地帯の不振から1920年代末期には限界を迎えた。</p> <p>フロリダ州の不動産ブーム</p> <p>アメリカ的な価値観が強調され(アメリカニズム)、ワスプ(WASP、ホワイト(W)・アングロ=サクソン(AS)・プロテスタント(P)の略)の利益を擁護しようとする保守的・排外主義的な傾向も現われた</p> <p>1924年移民法アメリカへの移民の数が年間15万人に制限された。</p> <p>株式ブーム 1928初頭より株価の上昇スピードが加速 1928年8月 フーヴァー大統領の共和党大会大統領候補指名受諾演説「遠からずしてこの国から貧困が消え去る日が来るだろう」</p> <p>ニューヨーク株式市場の大暴落(1929年10月) 輸出額約3分の1に落ち込む 大量の失業者と農村の困窮</p> <p>Gesellの生涯の最後の10年の間に(彼は1930年に亡くなりました)、彼の文書はテキサスのサンアントニオから英語圏に分配され、彼の見解は米国で最も広い知名度を得た。</p> <p>1930年に、ライトは舗装されていない道に沿って頻りに置かれたガソリンスタンドのみすぼらしい小屋に、そして目を向けました - 駐車場に囲まれた倉庫とあまり変わらない投機的なドライブイン・ショッピングセンター(それは、ロサンゼルス南西と周辺で出現していました)。</p> <p>1933年3月 ルーズベルト大統領 フーヴァーに代わって政権に就く。民衆の期待感。</p> <p>ルーズベルト大統領、スタンプ通貨の使用および発行を禁止</p> <p>D.Mckenzie は彼の有名な論文「The Metropolitan Community」大都市の地域社会(1933年)で、以前よりでもずっと大きな範囲に住む新しい種類の都市社会を説明するために、rus in urbe という語を使った。</p>	<p>シルビオ・ゲゼル『自由土地と自由貨幣による自然的経済秩序』の初版 1916 減価する貨幣(自由貨幣) ランダウアー政権に、財務担当人民委員として入閣するものの、わずか1週間でこの政権が崩壊 1919 ワイマール共和国(1919~1933)</p> <p>海軍軍備制限条約ワシントン会議 1922</p> <p>第1回 CIAM(近代建築国際会議)1928</p> <p>ミース、バルセロナパビリオン 1929</p> <p>世界大恐慌 1929</p> <p>コルビジェの都市計画「輝ける都市」1930</p> <p>ロンドン海軍軍縮条約 1930 総理若槻礼次郎(立憲民政党)</p> <p>ニューヨーク近代美術館(MOMA)でフィリップ・ジョンソンとヘンリー・ヒッチコックの企画によりCIAMの建築家らの作品を紹介した「近代建築展」を開催。インターナショナル・スタイル(国際様式)1932</p> <p>バイエルンの炭鉱町、シュパーネンキルヘンで「ヴェーラ」という名のスタンプ貼付型貨幣の成功 1929. 国家の通貨システムを乱すものとして1932年に中央銀行により禁止された。</p>	<p>(ライト5回目来日 1919年12/31~1920年6月) (ライト6回目来日 1920年12/28~1921年5月)</p> <p>大戦後恐慌 1920</p> <p>(ライト7回目来日 最後 1921年8/15~1922年7/22) 自由学園明日館 1921 ライト帰国 1922年7/22 帝国ホテル(1919着工 1923全館完成) 落成式当日に関東大震災 1923年9/1</p> <p>民主主義への意識高まる 普通選挙制 1925</p> <p>東京、大阪、名古屋でラジオ放送開始 1926</p> <p>昭和金融恐慌 1927</p> <p>宮沢賢治 銀河鉄道の夜(1924-1931)</p> <p>甲子園ホテル 1930 昭和恐慌 井上蔵相 金解禁、金本位制に復帰 物価デフレーション。特に農村に打撃 高橋蔵相 金輸出再禁止、金兌換停止 公債発行 1931</p> <p>公債漸減、軍事費抑制 1936 二・二六事件 高橋 凶弾に倒れる 1936.2</p>

ライト、ブロードエーカーシティー、ユソニアン	ウイスコンシン、シカゴ	アメリカ	世界	日本とライト、他
<p>Lusk House(プロジェクト) 最初のユソニアンハウス Wright meets future client Herbert F. Johnson at Taliesin Honeycomb House for Paul R. and Jean Hanna, Stanford, CA House for Herbert Jacobs, Madison, WI S.C. Johnson & Son Co. Administration Building (Johnson Wax), Racine, WI Deertrack House for Mrs. Abby Beecher Roberts, Marquette, MI</p> <p>1937 1937 春 Taliesin West の土地を見つける。 ライト ロシアの世界建築家会議に招待される。 秋 Taliesin West のキャンプ始まる Wright purchases approximately 800 acres of government land near Phoenix, AZ and design and construction of Taliesin West begins. The Taliesin Fellowship begins its annual migration between Wisconsin and Arizona.</p> <p>Wingspread House for Herbert F. Johnson, Racine, WI Office for Edgar J. Kaufmann, Pittsburgh, PA (dismantled and on display at Victoria & Albert Museum, London) House for Ben Rebhuhn, Great Neck Estates, NY</p> <p>1938 The January issue of "Architectural Forum," which is dedicated to Wright's work. Wright appears on the cover of "Time" magazine. Wright submits first design for "Olin Terraces" a civic complex in Madison overlooking Lake Monona.</p> <p>Florida Southern College Master Plan for Dr. Ludd M. Spivey, Lakeland, FL Anne Pfeiffer Chapel, Florida Southern College, Lakeland, FL House for Ralph Jester, Palos Verdes, California (project) later executed for Arthur and Bruce Brooks Pfeiffer, Scottsdale, AZ Guest House for Edgar J. Kaufmann, Bear Run, PA House for Charles Manson, Wausau, WI Midway Barns and farm buildings, Taliesin, Spring Green, WI Sun Top Homes for Otto Mallery and the Todd Company, Ardmore, PA</p> <p>1939 Usonia Okemos, East Lansing , Michigan, eight houses on forty acres (Goetsch-Winckler House だけが実現) Wright is invited to London to deliver a series of lectures at The Sulgrave Manor Board. They are published as "An Organic Architecture." Wright is awarded an honorary master of arts by Wesleyan University, Middletown, CT. House for L.N. Bell, Los Angeles, CA (project) later executed for Joe Feldman, Berkeley, CA (1974) House for Andrew F. H. Armstrong, Ogdun Dunes, IN House for Sidney Bazett, Hillsborough, CA House for Joseph Euchtman, Baltimore, MD House for Lloyd Lewis, Libertyville, IL House for Rose and Gertrude Pauson, Phoenix, AZ House for John C. Pew, Madison, WI House for Loren Pope, Falls Church, VA House for Stanley Rosenbaum, Florence, AL House for Bernard Schwartz, Two Rivers, WI Auldbrass House and Plantation buildings for Leigh Stevens, Yemassee, SC House for George Sturges, Brentwood Heights, Los Angeles, CA House for Kathrine Winckler and Alma Goetsch, Okemos, MI</p> <p>1940 "The Work of Frank Lloyd Wright," a major retrospective exhibition is held at the Museum of Modern Art, New York City. Wright founds the Frank Lloyd Wright Foundation.</p> <p>House for Gregor Affleck, Bloomfield Hills, MI House for Theodore Baird, Amherst, MA House for James Christie, Bernardsville, NJ Community Church, Kansas City, Missouri Seminar Buildings, Florida Southern College, Lakeland, FL Gatehouse for Arch Oboler, Malibu, CA House for Clarence Sondern, Kansas City, MO</p> <p>1943A revised edition of "An Autobiography" and Wright publishes "Book Six: Broadacre City." Wright publishes "When Democracy Builds" 1945</p>	<p>La Follette was defeated seeking reelection as governor in 1938. That spring Philip F. La Follette had attempted to launch the National Progressive Party of America in an attempt to create a national third party (as the La Follettes had helped create in Wisconsin) in anticipation of Franklin D. Roosevelt not seeking a third term for President. The plan for a new national Progressive Party never materialized at the time, and Roosevelt soon decided to defy convention and precedent and seek a third term; La Follette never again sought public office for himself.</p> <p>1942-1945 Philip F. La Follette ,Captain, promoted to colonel, United States Army, serving in the southeast Pacific.</p> <p>Once war was declared, he abandoned his opposition and joined the U.S. Army, serving on the staff of General Douglas MacArthur. He would later spearhead a slate of delegates supporting MacArthur in the 1948 presidential campaign 「With MacArthur in the Pacific: a memoir by Philip F. La Follette」</p>	<p>ニューディール政策とその失敗 1930年代のアメリカは、人びとの創意工夫に満ちた「改革の時代」でもあった。景気回復と制度や経済構造の改革努力が同時に遂行されようとした。</p> <p>1936 景気が過熱していると読んだルーズベルトは消極策に転じ、ここで再び 1937～1938年 ルーズベルト恐慌が起きる。</p> <p>国際連合 1945 コルビジェ、ユニテ・ダビシオン 1945 ベルリン封鎖、1948.</p> <p>中華人民共和国 1949</p> <p>ミス、ファンズワース邸 1950 コルビジェ、ロンシャン教会 1950</p> <p>アジア・アフリカ会議 1955</p> <p>キューバ危機 1962</p> <p>部分的核実験停止条約 1963 核拡散防止条約 1968</p> <p>チェコスロヴァキアの自由化「ブラハの春」1968</p> <p>米ソ間でデタント(緊張緩和)進展</p> <p>オイルショック 1973 1970年代の資本主義体制のスタグフレーションの危機、政府の財政危機</p> <p>アイン・ランド 「The Fountain Head」 1943, 1949 映画化(邦題「摩天楼」) リバタリアニズム、各個人の自由を最大限尊重すべきだとする思想。FRB議長グリーンズパンが傾倒(グリーンズパン自伝) (ライト施主 Ayn Rand Studio Residence project . 1947)</p>	<p>オーストリア・チロル地方のヴェルグルの労働証明書(ゲセルの減価する貨幣、スタンプ通貨)の成功 1932～オーストリアの中央銀行によって「国家の通貨システムを乱す」として 1933年 11月に廃止に追い込まれた</p> <p>ナチス党内閣成立 1933</p> <p>第2次世界大戦勃発 1939</p> <p>アメリカのフランクリン＝ローズヴェルト大統領とイギリスのチャーチル首相、大西洋憲章。1941全 8条からなる大西洋憲章では領土不拡大・領土不変更・民族自決・貿易の自由と拡大・労働条件と社会保障の改善・海洋の自由・軍備縮小・平和機構の再建が謳われていた。</p> <p>国際連合 1945 コルビジェ、ユニテ・ダビシオン 1945 ベルリン封鎖、1948.</p> <p>中華人民共和国 1949</p> <p>ミス、ファンズワース邸 1950 コルビジェ、ロンシャン教会 1950</p> <p>アジア・アフリカ会議 1955</p> <p>キューバ危機 1962</p> <p>部分的核実験停止条約 1963 核拡散防止条約 1968</p> <p>チェコスロヴァキアの自由化「ブラハの春」1968</p> <p>米ソ間でデタント(緊張緩和)進展</p> <p>オイルショック 1973 1970年代の資本主義体制のスタグフレーションの危機、政府の財政危機</p>	<p>満州事変 1931 石原莞爾 五・一五事件 1932 首相犬養毅 殺害される 盧溝橋事件 日中戦争 1937～45</p> <p>日独伊三国同盟 1937 太平洋戦争 1941～45「大東亜共栄圏」</p> <p>ポツダム宣言 1945 日本の降伏条件として軍国主義の除去・領土の占領・領土の制限(日本の領土を本州・北海道・四国・九州および周辺の諸小島とすること)・日本軍の武装解除・戦争犯罪人の厳罰と民主主義の確立・日本の無条件降伏などが決められた</p> <p>終戦 1945</p> <p>連合軍総司令部(GHQ)・総司令官マッカーサーは日本の非軍国化・民主化に取り組み、1945年 10月には男女同権・労働者の団結権の保障・教育の自由化・専制の廃止・経済の民主化の五大改革指令を、11月には財閥解体の指令を、12月には農地改革の指令を出して民主的改革を進めた。</p> <p>日本国憲法公布 1946 遠藤新 GHQルーマスの進言を得て文部省の新制中学の建築設計手引書を改定 1948</p> <p>朝鮮戦争 1950～1953 特需景気</p> <p>サンフランシスコ講和条約 1951 日米安全保障条約</p>

ライト、ブロードエーカーシティ、ユソニアン	ウイスコンシン、シカゴ	アメリカ	世界	日本とライト、他
<p>Usonia Homes Pleasantville,NY 1945 44 houses on 100 acres, David Henken Usonia The Galesburg Country Homes MI 1947 Usonia Parkwyn Village in karamazoo MI 1947</p> <p>Broadacre City 模型、Sixty Years of Living architecture 展の一部としてヨーロッパ(イタリア、スイス、ドイツ、オランダ)とロスアンゼルスを 1950 年～1954 年にかけて巡回。</p> <p>Beth Sholome Synagogue 1954 Price tower 1956 バクダット文化センター1957 1956Wright presents the "Mile High Illinois" at an exhibition at the Hotel Sherman in Chicago. マリノ郡庁舎 1957～ 1958Wright publishes "The Living City." 1959 4/9 ライト フェニックスで死去。</p> <p>ASU(Arizona state University) Symposium on Broadacre City 1991 Paul K. Zygas</p> <p>"Frank Lloyd Wright and the Living City" Exhibition Vitra Design Museum, Germany 1998 David De Long</p>	<p>ロバート・ラフォレット・ジュニア 共和党に戻るも、ウイスコンシン州上院議員 予備選挙でジョセフ・マッカーシーに僅差で敗れる。1946</p> <p>合衆国大統領トルーマンドクトリン 1947 共産主義の脅威、自由主義を守るため、ギリシャ、トルコへの援助 東西冷戦</p> <p>ジョセフ・マッカーシーの赤狩り 1953</p> <p>ジョン F.ケネディー大統領 ニューフロンティア 1960</p> <p>20 万人によるワシントン行進、キング牧師「私には夢がある。いつの日にかジョージア州の丘で、かつての奴隷の子孫と奴隷主の子孫が兄弟として同じテーブルに座るときが来るという夢がある。私の幼い 4 人の子どもたちが、いつの日にか皮膚の色ではなく人格によって評価される国に住むという夢がある」1963</p> <p>公民権法(黒人差別・人種差別などの撤廃を定めた法律成立) 1964</p> <p>リンドン・ジョンソン大統領 the Great Society 1964 ベトナム戦争 1965～73</p> <p>レーガン大統領 1981～1989 レーガノミクス サブライサイド 経済学大幅減税と積極的財政政策 規制緩和、小さな政府</p> <p>リーマンショック 2008 オバマ大統領 民主党 2009</p>	<p>1980 年代以降の新自由主義の台頭</p> <p>サッチャー英国首相(1979～1990)政府の経済的介入を抑制する政策、新自由主義あるいは新保守主義、ハイエクやフリードマンの経済学。各種国有企業の民営化や規制緩和、金融改革などを断行。</p> <p>新自由主義 小さい政府、金融自由化、規制撤廃、より自由で競争的な資本主義 所得格差の拡大 資金・財・労働力・技術など移動を自由化を前提するグローバル資本主義 スピードの増大、競争のストレス</p> <p>緑の党 ドイツ 1980 年代</p> <p>EU(ヨーロッパ連合)1993</p> <p>都市の再生(再定義)の必要性</p> <p>第三の道 英国ブレア首相 1997～2007</p>	<p>帝国ホテルライト館解体 1968</p> <p>ドル・ショック 1971</p> <p>中曽根康弘政権によって専売公社、電話、鉄道などの民営化が始まった 1985</p> <p>NHK 番組 エンデの「根源からお金を問う」1999、各地で地域通貨始まる</p> <p>小泉首相、竹中蔵相 郵政選挙 2005</p> <p>民主党政権 2009</p>	

Copyright © 2009 R.Isoya All Rights Reserved.

参考、引用文献、サイト

ライオネル・マーチ Lionel March BroadacreCity :Intellectual Sources Frank Lloyd Wright the Phoenix Papers Volume Broadacre City p.80-117

ウイスコンシン歴史協会 <http://www.wisconsinhistory.org/>

秋元 英一 ニューディールとアメリカ資本主義

「フランク・ロイド・ライトの日本」 谷川正巳

「フランク・ロイド・ライトと日本文化」ケビン・ニュート

「フランク・ロイド・ライト、建築は自然への捧げもの」 大久保美春

「ライト館の幻影」 遠藤 陶

遠藤楽作成の 年表 未発表のもの

横山彰人 [世界ノート\(現代編\)](http://www3.kct.ne.jp/~atonoyota/mokuji04.html) <http://www3.kct.ne.jp/~atonoyota/mokuji04.html>

他